

問いと図で確かめる

二種類の数え方を合わせる

条件と数値は図・表示の記録にそろえています。問題、解答、続く理由を対応させて確かめます。

問題 1

5人の総当たり1回戦。人ごとの延べ対戦数と実試合数は？

01

5人の総当たり1回戦。人ごとの延べ対戦数と実試合数は？

問題 2

1～10から公平に1枚。偶数または3の倍数（両方も含む）の確率は？

01

1～10から公平に1枚。偶数または3
の倍数（両方も含む）の確率は？

問題 3

面積 12cm^2 の合同三角形2枚で、重なりなく平行四辺形。面積は？

01

面積 12cm^2 の合同三角形2枚で、
重なりなく平行四辺形。面積は？

解答と理由

二種類の数え方を合わせる

問題 1 の解答

延べ $5 \times 4 = 20$ 、実試合 $20 \div 2 = 10$

1人は残り4人と対戦するので、人ごとの延べ対戦数は $5 \times 4 = 20$ です。実際の1試合を両方の人について2回数えているので、実試合数は $20 \div 2 = 10$ です。

01

延べ $5 \times 4 = 20$ 、実試合 $20 \div 2 = 10$

問題 2 の解答

$\{2, 3, 4, 6, 8, 9, 10\} : 7/10$

偶数は2、4、6、8、10、3の倍数は3、6、9です。両方に入る6を重複させず合わせると $\{2, 3, 4, 6, 8, 9, 10\}$ の7枚なので、確率は $7/10$ です。

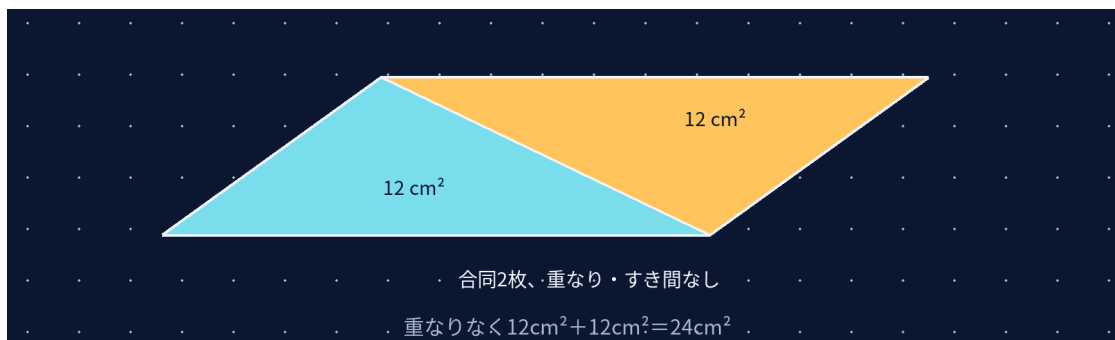
01

$\{2, 3, 4, 6, 8, 9, 10\} : 7/10$

問題 3 の解答

$12 + 12 = 24 \text{ cm}^2$ 。合同な2枚。重なりなく $12 \text{ cm}^2 + 12 \text{ cm}^2 = 24 \text{ cm}^2$

重なりもすき間もないので、平行四辺形の面積は2枚の三角形の面積の和です。 $12 + 12 = 24 \text{ cm}^2$ です。



要点と解説をつなぐ

二種類の数え方を合わせる

人を固定して数える

人を固定して数える

試合は二つの参加記録に対応

試合は二つの参加記録に対応

対戦形式が違えば数え方も違う

対戦形式が違えば数え方も違う

順番を付けるかを問いに合わせる

順番を付けるかを問いに合わせる

第2問：条件を確認

第2問：条件を確認

重なる6を1回にする

重なる6を1回にする

またはの条件を確認する

またはの条件を確認する

反対側からも確認できる

反対側からも確認できる

第3問：条件を確認

第3問：条件を確認

切り替わるのは形で面積ではない

切り替わるのは形で面積ではない

底辺かける高さとの対応

底辺かける高さとの対応

長さを足す問題とは分ける

長さを足す問題とは分ける

要点と解説をつなぐ

二種類の数え方を合わせる

固定する条件の確認

5人が他の全員と1回ずつ。延べ参加数と実試合数を区別。1～10各1札を公平に1枚。偶数または3の倍数。両方に入る札も含む。合同な三角形2枚。1枚の面積 12cm^2 。辺を合わせ重なり・すき間なく平行四辺形

01

延べ $5 \times 4 = 20$ 、実試合 $20 \div 2 = 10$